

# JIS

## 自動車部品－ホイール－性能及び表示

JIS D 4103 : 2015

(JSAE)

平成 27 年 7 月 21 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## 日本工業標準調査会 標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒井 信介	東京大学
(委員)	會川 義寛	お茶の水女子大学名誉教授
	伊藤 弘	公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター
	宇治 公隆	首都大学東京 (公益社団法人土木学会)
	大石 美奈子	公益社団法人日本消費者生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	奥野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	金丸 淳子	公益財団法人共用品推進機構
	鎌田 実	東京大学
	河村 真紀子	主婦連合会
	甲田 英一	東邦大学
	神山 宣彦	東洋大学
	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	高田 祥三	早稲田大学
	高久 昇	一般財団法人日本規格協会
	高増 潔	東京大学
	田中 龍彦	東京理科大学
	内藤 政彦	一般社団法人日本自動車工業会
	長井 寿	独立行政法人物質・材料研究機構
	夏目 智子	全国地域婦人団体連絡協議会
	奈良 広一	独立行政法人産業技術総合研究所
	西江 勇二	公益財団法人鉄道総合技術研究所
	長谷川 鉄朗	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	平原 祐	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	槇 徹雄	東京都市大学
	増井 忠幸	東京都市大学名誉教授
	棟近 雅彦	早稲田大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 59.4.1 改正：平成 27.7.21

官 報 公 示：平成 27.7.21

原 案 作 成 者：公益社団法人自動車技術会

(〒102-0076 東京都千代田区五番町 10-2 五番町センタービル TEL 03-3262-8211)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 性能	2
4.1 性能一般	2
4.2 回転曲げ耐久性	2
4.3 半径方向負荷耐久性	2
4.4 乗用車用耐衝撃性	2
4.5 商用車用耐衝撃性	3
5 寸法	3
5.1 リムの輪郭	3
5.2 取付方式及び寸法	3
6 試験方法	3
6.1 回転曲げ耐久試験	3
6.2 半径方向負荷耐久試験	5
6.3 乗用車用衝撃試験 (13° 法)	7
6.4 商用車用衝撃試験 (30° 法)	9
7 表示	10
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	11
解 説	14

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、公益社団法人自動車技術会（JSAE）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS D 4103:1998** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業省大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

# 自動車部品—ホイール—性能及び表示

## Automobile parts—Wheels—Performance requirements and marking

### 序文

この規格は、2005年に第4版として発行された **ISO 3006**、2005年に第3版として発行された **ISO 3894** 及び2005年に第3版として発行された **ISO 7141** を基とし、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

### 1 適用範囲

この規格は、自動車に使用する鋼製及び軽合金製ホイール (以下、ホイールという。) について規定する。ただし、応急用タイヤ用、二輪自動車用、産業車両用、建設車両用及び農業機械用ホイールには適用しない。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

**ISO 3006:2005**, Road vehicles—Passenger car wheels for road use—Test methods

**ISO 3894:2005**, Road vehicles—Wheels/rims for commercial vehicles—Test methods

**ISO 7141:2005**, Road vehicles—Light alloy wheels—Impact test (全体評価: MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“修正している”ことを示す。

### 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版 (追補を含む。) を適用する。

**JIS D 0101** 自動車の種類に関する用語

**注記** 対応国際規格: **ISO 3833**, Road vehicles—Types—Terms and definitions (MOD)

**JIS D 4102** 空気入りタイヤ用ホイール及びリム—用語・呼び・表示

**注記** 対応国際規格: **ISO 3911**, Wheels and rims for pneumatic tyres—Vocabulary, designation and marking (IDT)

**JIS D 4202** 自動車用タイヤ—呼び方及び諸元

**JIS D 4220** 自動車部品—ホイール—取付方式及び寸法

**JIS D 4230** 自動車用タイヤ

**JIS Z 2300** 非破壊試験用語

**JIS Z 2343-1** 非破壊試験—浸透探傷試験—第1部: 一般通則: 浸透探傷試験方法及び浸透指示模様